

天気の良い日には、園庭にでて遊んでいます

砂場では、水や砂の感触を楽しみながら、友だちと一緒に大きな山を作ったり穴を掘ったりすることを楽しんでいます。その中で「水ながして。」「水くんできて。」「もっと深くしよ。」「ここもって。」とそれぞれ役割分担を決めながら遊ぶことも増えています。



「9個できた。」「私もほしいよ。」「まだ、あげられるよ。」遊びの中で自然と数を数えたい、分けたいもしています。



砂場のそばでは、さら砂を集めて、少しずつ水をくわえて遊んでいます。「あー水入れすぎた。ドロドロになったしこれはお好み焼きにしよ。」「これでは、かたまるへんな。」「これ、団子にできるで。」と、水の量により、固まることや感触の違いに気付きそれぞれの特性をいかし遊びにつなげる子どもたちの発見は無限です。[これは、明日も続きしよ]と大切に棚に保管する子もあります。

おうちで おぼあちゃんとヨモギだんごつくったことあるよ。



「園庭に朝顔と風船かずらの種・夏野菜の苗を植えました。当番が中心に毎日水やりをしています。」「大きくなあれ。」「おいしくなあれ。」と声に出しながら気持ちを込めている子どもも多いです。日々、「花が咲いたね。ツルが伸びたね。」など小さな変化にも気づき収穫を楽しみにしています。



やさしくつちをかぶせてあげよ

